

<お知らせ> ABINCが戸建住宅団地版および物流施設版の予備認証を発行します

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community=略称ABINC(エイビック)]が、戸建住宅団地や物流施設の認証に着手したことをここに発表します。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会・ABINC(エイビック)は、2012年12月に設立され、企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)の策定した、いきもの共生事業所ガイドライン(以下、ガイドラインという)、土地利用通信簿(以下通信簿)に基づいて評価する認証制度ABINC認証(エイビック)を行い、4年間で工場、事務所ビルや商業施設、集合住宅46件の施設の緑地や環境取組について認証して参りました。

この度、新たに戸建住宅団地等の街区単位での認証や、物流施設等への認証の要望が寄せられております。戸建住宅団地や物流施設は、一般的に十分な緑地面積や樹木の本数の確保が難しいと考えられますが、一方では住居の門周りや庭などの緑に配慮し、中央に共有の広場や緑地を設置し街区の環境や魅力を向上させているもの、郊外の自然のポテンシャルの大きい地域に位置し、周辺の生態系に寄与する可能性が高いものなども見受けられます。

ABINCでは、これら先進的な取り組みをされている事業者様にトライアル認証にご参加いただき、検討委員会において協議してまいりました。検討委員会は、現段階において認証取得基準に達している施設に対し、今後の認証取得を目指すことや、適正な資料の提出することを前提に、「予備認証」を発行いたします。なお「予備認証」は、最終的な認証取得を保証するものではありません。

【戸建住宅団地、物流施設のためのトライアル認証の検討概要】

- ① 複数の戸建て住宅が街区を形成する事業で、緑地形成や生態系サービス(雨水調整や供給サービスなど)に積極的に配慮しているもの
- ② 物流倉庫等、流通関係の大型倉庫で、緑地形成や生態系サービス(雨水調整や供給サービスなど)に積極的に配慮しているもの

【今後の予定】

- ① 2017年10月末頃 予備認証の発行
- ② 2017年11月末(目途) 申請および申請資料の提出
- ③ 2018年1月 評価委員会(第二次審査)において評価
- ④ 2018年2月中~末頃 認定事業所の発表

【団体概要】

■名称: 一般社団法人いきもの共生事業推進協議会
[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community=略称ABINC(エイビック)]
■設立: 2013年12月25日 ■連絡先: info@abinc.or.jp ■ホームページ: http://www.abinc.or.jp/
■理事: 中静 透 (東北大学大学院生命科学研究科教授) ※代表理事に就任
亀山 章 (公益財団法人日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授)
森本幸裕 (京都学園大学教授、京都大学名誉教授)
黒田大三郎 (公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー)
足立直樹 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ事務局長)
原口 真 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ顧問)
■監事: 梶谷 修 (一般社団法人日本環境アセスメント協会会長)

<本発表に関するお問い合わせ先>

ABINC事務局業務取扱い受託 株式会社インターリスク総研
担当: 安斉(アザイ)・宇野澤(ウノサワ) info@abinc.or.jp TEL: 070-6457-2261